

『三原郡史』の続編

続三原郡史

続三原郡史の刊行を喜ぶ

推薦のこぼれ

俳優・民話研究家 山口 崇

風光明媚自然風土に恵まれた島といわれても明日が見えなければその評価も半減で、私たちは何処からきて何処へ向かうのか、をいつも見据えていなければならぬ。
『続三原郡史』の価値はそんな判断と指針を与えてくれる貴重な材料の一つである。新しい宝物を頂いたともいえる。社会構造の変化は急激で混乱は日常的だが、島が泰然としているためには「事実を語る史書」と「心を語る伝承」の両翼が必要なのはいうまでもない。
この宝物を若い世代に何よりも子供たちに、島の心を語る資料として活用されれば出版の意義はさらに深まることであろう。

あわじ島農業協同組合

会長 理事 前川 敬一

『三原郡史』は、一四〇〇頁に及び三原郡の歴史の歩みが記載されて、後世に伝える貴重な傑作書であります。『続三原郡史』はさらに後の三十年間の史書として発刊されました。感服し感謝申し上げます。私は農協組合長として「歴史を学び太陽と土と水」を百三十回連載することが出来ましたが、『三原郡史』と野水正朔氏の「今昔写真帖」が頼りでした。時代の移り変わりと共に喜怒哀楽が訪れるが、その時々に対処した実情が露わに綴られております。編集に携わられた方々に敬意を表します。特に、『三原郡史』、『続三原郡史』編纂代表者菊川兼男先生が、文化人の第一人者として執筆に精根を傾けられたこの書籍こそ、秀逸書として後世に残ることでしょう。

ご家庭にぜひ一冊！ 永久保存版

限定版

続三原郡史の特色

昭和五十一年〜平成十六年度までの約三十年間の激動の現代史！

縄文時代から平安時代にわたる遺跡調査！三原郡域六十二遺跡の調査記録！

平安期からの地名の改変を解説！古代からの大字・小字名の由来への考察！江戸期からの三原郡旧村の合併、変遷を詳述！

続三原郡史編纂委員会委員

- 執筆 菊川 兼男 (編纂委員長)
 - 増田 博茂 (編纂副委員長)
 - 西 東 祥 征 (編纂委員)
 - 飯 田 寛 治 (編纂委員)
 - 正 井 良 徳 (編纂委員)
 - 川 道 享 史 (編纂委員)
- 執筆 埋蔵文化財調査事務所

編集 続三原郡史編纂委員会
 発行所 南あわじ市
 発行日 平成二十一年三月
 発行部数 三〇〇〇部
 体裁 A5版 約一〇〇〇頁 織物表紙
 発行部数 金箔題字 クラフトケース
 販売価格 五〇〇〇円 (税込)



巻頭写真



【お問い合わせ】

南あわじ市 総務企画部 広報情報課
南あわじ市市善光寺二十二番地一

電話 四三二五二〇六
FAX 四三一五三〇六

他にない郷土の学習書！
語り継いでいきたい次世代へ！
郷土を愛するところが語る現代史！
— 約3000名の人名記載！ —